

民主党・無所属の会 市議会レポート

【桜区版】2月号

編集・発行：民主党・無所属の会さいたま市議団 桜区事務所

<http://www.minshu-mushozoku.jp>

「議会改革」実現に向け活動中！

2月定例会 予算委員会で質疑

2月3日から開催された2月定例会も3月12日、全ての議案を可決し、閉会いたしました。特に今議会では、条例・道路・一般議案などの審議の他に、常設化された予算委員会の中で、国の第二次補正予算に伴う補正予算、平成21年度さいたま市一般会計予算をはじめとする予算関連議案の審議が、延べ10日間にわたりおこなわれました。

私も、市民の視点に立った政策提言と、市政のチェックという議員の責務をまっとうするべく、46分間の質疑に臨みました。



さいたま市議会議員

阪本かつみ

まちづくり常任委員会 副委員長

予算委員会 委員

大都市行財政制度調査委員会 委員

定額給付金を含む補正予算に賛成！

定額給付金については、本当に地域経済の活性化につながるのか、真の生活困窮者まで届くのかなど、その目的や有効性をめぐり様々な議論が交わされてきた事業です。

しかしながら、国会においてこの議案が可決された以上、ある一定の地域だけに給付金が配られないという事態をまねいてはいけない、とのおもいから、

1. 地域経済の活性化に資するために、地元商工関係者との連系を図ること。
2. 市民が自らの寄付を通じて施策に意思反映ができるような多様な使い方の提示を積極的におこなうこと。
3. 派遣切りにより住居をなくすなど、給付金を受け取れない人々に対する取り組みの必要性。

などの注文を付け、民主党・無所属の会さいたま市議団は、補正予算に賛成いたしました。

（さいたま市の定額給付金給付事業の予算額は約187億）

民主党・無所属の会さいたま市議団 桜区事務所〔阪本かつみ事務所〕

〒338-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023

E-mail: sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp

「阪本かつみホームページ」 <http://www7a.biglobe.ne.jp/~sakamoto-k>

阪本かつみ 予算委員会で賛成討論！

平成 21 年度の予算編成に当たっては、重要施策 80 事業に対して前年度比 40%増の約 479 億円が重点配分されるとともに、「子育て支援」、「安心・安全」、「環境」の3つのキーワード事業に対しても前年度を大幅に上回る予算が配分されており、多様化する市民ニーズに出来るだけ対応しようとする努力が見られます。



「子育て支援」については、保育所待機児童解消に向けた一つの施策としてナーサリールーム・家庭保育室の保育料負担の軽減が図られました。これは、大いに評価する所ではありますが、保育園の整備についても後退することなく計画的に進めていくことをのぞみます。また、妊婦検診公費負担が4回から15回に拡大されるなど、子育て日本一日のまちづくりの推進方針に基づき着実に施策の展開が図られております。

「安心・安全」については、小中高等学校の耐震化事業について、耐震完了目標年次を平成 25 年として取り組むことや、新型インフルエンザ対策としてタミフル 27 万人分の備蓄を進めるなど、市民の生命を守る施策が積極的に講じられていると判断します。

「環境」については、市民の環境に対する意識が高まる中、住宅用太陽光発電システム設置に対する補助制度が創設されました。また、LEDの積極的な導入を進めるなどの予算が計上されております。

また、近々の課題である経済対策・雇用対策などの課題に対しても、中小企業融資枠の増額やキャリアサポート事業など、スピーディーかつ積極的な対策が講じられております。

歳入については、「100年に一度の経済危機」とも言われ、法人市民税の減収が見込まれる厳しい財政状況の中、財政調整基金等の活用・工夫により自主財源を確保し、市債の発行額の抑制に努められており、将来にわたって健全財政の維持に努められていることを高く評価します。

しかしながら、いくつかの留意点についても言及しておきます。

- ・ 都市計画道路や公園の整備においては、国庫補助金の財源問題はあるものの、事業の重要性からスピードアップが求められており、その施策の検討が必要だと考えます。
- ・ 経済危機の下、住宅困窮者への対応など、更なる住宅政策の充実を検討すべきであると考えます。

以上の課題については、平成 21 年度予算の執行にあたり、特に留意して課題の解決に向けて努力することを期待し、賛成討論とさせていただきます。(抜粋)